

今回「特別賞」をいただきましたが、ゴルフに関係なく地区全体の在籍している年長者へのものということでした。初めてのことでしたので意外でした。

新潟県における森林業について

50 年来森林組合をやっていますので、県の森林についてお話をします。

県が示している地域の森林計画というのがあります。4 地区に分けて地域の森林の維持管理をしています。県が出している資料によれば

下越は人工林の割合が高い。県内最大の木材産地であります。村上地区・山北・新発田地域の面積が大きく特徴を持った森林を有しています。

中越は面積では最も広い森林を有しています。防災林とか自然災害に立ち向かうための保有林が多いです。キノコの生産が盛んです。

上越は妙高山麓が森林セラピーとして基地ロードが設置され、スキー場やゴルフ場などレクリエーション的なものが多いです。

佐渡は天然林の割合が多いです。広葉樹が多いです。林道の整備が進み、干しシイタケの生産が盛んです。

面積でいうと下越は 67%が森林、中越は 67%、上越は 70%、佐渡は 81%となっています。

佐渡は天然の杉が多いですが風が強く幹が曲がったりしていますが、それが珍しいということで観光に活用されています。

林業機械が発展していて 1 台数千万円位しますが、それぞれの団体が数台

保有しています。下越では 36 台、中越は 13 台、上越は 7 台、佐渡は 2 台保有しています。

林道は下越では約 900 kmあります。中越は 1047 km、上越が 609 km、佐渡は 479 kmあります。木材の生産としては下越 54000 m³、中越 20000 m³、上越 10000 m³、佐渡 2300 m³となっています。(3 年前の資料によれば)

自然災害が多く、松くい虫が昭和 55 年頃から発生して今年の夏の暑さで例年より 30%位増えています。植えた木が大きくなりすぎて柱になるような木がとれなくなるので、早く切ってもらいたいのですが、価格が安くてあまり所有者が切ろうとしないのです。これから林業経営も大変な状況が続くのではと思います。